
ハツキイヌワラビの第三産地 (倉田 悟)

Satoru KURATA: The Third Locality of *Athyrium* × *pseudo-iseanum* KURATA.

ハツキイヌワラビ (倉田, 木誌 8 巻 2 ~ 4 号, 1960年; 横須賀市博物館研究報告 6 号, 1961年) はタニイヌワラビとホソバイヌワラビの雑種で, 極稀品に属し, 従来薩摩大口市と紀州那智の産が判明していたのみであつた。昨年末, 紀州尾鷲市中央公民館長の若葉治氏は同市内矢ノ川三田谷にて本羊歯を採集されたが, 当に第三番目の産地である。この標本は那智産と同様, 無性芽を付けていない。今春, 私は若葉氏の御案内を得, 同地を訪れたが恐らく冬枯れのためであろうか発見出来なかつた。もし再発見されれば, 確実な自生地として現在唯一のものである。とにかく, シダの宝庫としてその名も高い尾鷲に更に一珍種を加え得たのは嬉しいことである。